



1年の締めくくり

先週の保護者懇談では、お忙しい中、ご来校いただきありがとうございました。学校での様子やご家庭での様子を共有させていただきましたが、大切なのはこれらを主役である生徒自身にフィードバックさせることです。フィードバックとは、相手の行動に対して改善点や評価を伝え、軌道修正を促すことを言いますが、この積み重ねで人は成長していきます。懇談で確認できたことをお子さんに伝え、まずはこのひと月、ご家庭でも意識して生活していただければと思います。

さて、明日は実力テストです。毎年この時期に実施していますが、それには理由があります。明日は多くの3年生にとって義務教育、最後にして最大の難関、県立高校入試（学力検査）なのです。その日に合わせて1、2年生もテストを行います。高校入試は3年生にとって3年間の集大成、今回の実力テストは1年生にとって1年間の集大成なのです。もう一度、受検の仕方など確認し、自分の実力（1年の成果）をしっかりと出し切ってほしいものです。

余談ですが、高校入試には学力検査以外に面接検査があり、学力検査で測ることのできない、生徒の意欲を知るために行われます。先日3年生の一部の生徒に面接練習を行い、中学校で何を学び、さらに高校で何を学びたいか、将来についてなど自分の想いを言葉にして伝えてもらいました。どの生徒も練習とはいえど、緊張とともに真剣さが伝わってきました。面接練習をしながら、今の1年生の2年後を想像してみました。がうまくイメージできませんでした。がんばらなくてはと強く思いました。



こうならないためには事前の準備が大事です。そして最後の最後まで粘り強くやりきる。それが次に繋がります。ただし、前日の徹夜は絶対にいけません。

テスト当日の受け方を紹介します。是非、参考にしてください。

1. 早起きして朝ごはんをしっかり食べる。
2. テストが始まったらさっと全体を見て出題量を把握する。
3. わからない問題はとばして次へ。 *わかる問題からやろう！ 落ち着きます。
4. 時間が余れば全力で見直しをする。

学年通信第4号より

慮る

担任外道徳の時間に、認知症問題を通して「慮る」について考えました。

認知症に限らず、世の中にはたくさん配慮を必要としている方がおられます。その中には見た目ではわからないけれど、私たちが普通と感じていることでも不自由さやつらい思いをしている方もおられることなどを学習しました。「慮る」とは、周囲の状況などをよくよく考える。思いめぐらすという意味なのですが、障がいや病気の有無に関わらず、人間関係を友好に築くためには欠かせない要素です。自分の考えや思いだけに固執せず、誰に対しても「慮る」人間に育ってほしいと思います。



卒業式に向けて、ボランティアを募り、花植えを行いました。3年生を思い一生懸命手伝ってくれた生徒に感謝です。これも「慮る」ことなのではないでしょうか。そんな生徒を増やしたいものです。

※「慮る」は難しい読み方ですが、お子さんは必ず読めるはず。尋ねてやってください。